

基礎生物学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会・心理学・教育学委員会合同
生物リズム分科会
第25期・第4回 議事録

日時：令和4年12月14日（水） 17時00分～19時00分

場所：ZOOMによるオンライン会議

出席：深田委員、秋山委員、遠藤委員、尾崎委員、影山委員、近藤委員、坂田委員、
佐竹委員、内匠委員、沼田委員、本間（研）委員、本間（さ）委員、三島委員、
吉村委員

欠席：上田（昌）委員、上田（泰）委員

報告事項

1. 「日本学術会議の在り方についての方針」の説明

令和4年12月8日に開催された「日本学術会議の在り方についての方針」についての会議内容について深田委員および尾崎委員より説明があり、意見交換を行った。

またこのこと関連して、今後、連携会員の決定プロセスが変更される可能性はあるものの、まずはこれまで通りの方法で候補者を推薦してほしい旨が深田委員から伝えられた。

審議事項

2. 公開シンポジウム「環境変動と生物リズム（仮題）」の実施計画、演者などについて

秋山委員、佐竹委員、沼田委員、吉村委員、深田委員（オブザーバー）の5名によって作成された「環境変動と生物リズム（仮題）」と題した公開シンポジウムの素案が示され、吉村委員より経緯の説明がなされた。

シンポジウムのテーマ設定についての意見交換がなされ、温暖化を基軸とし、聴衆への訴求力や演題との整合性を考慮したうえでシンポジウムのタイトル、趣旨などについては引き続きワーキンググループで検討することとなった。なお今後、「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（日本学術会議2021年4月22日）を参照し、分野横断性、市民・関係者との対話などにも配慮して企画することを確認した。

開催日は4月の土日を開催日の候補とし、演者らと調整したうえで、1月中旬に企画書を提出することとなった。また、名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所を後援とし、ポスター作成を依頼することに決定した。

3. 出版物の編集協力について

日本生物学会が編集予定である『生き物と時間の事典（案）』について、日本学術会議生物リズム分科会も編集協力として参加することを版元である朝倉書店に提案する旨が深田委員より提案され、了承された。